

二〇一七年度 B-II 選考

國語
その

次の文章を読み、あとの問い合わせに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、句読点やかつこなどの記号も字数として数えます。（設問の都合上、原文の一部を省略しているところがあります。）

子供の頃、私は虫が大好きな昆虫少年だつた。最初は蝶を握りしめて、じつと目当ての蝶が飛来するのを待つた。

を握りしめて、じつと目当ての蝶が飛来するのを待つた。最初は蝶捕虫網の少年だった私は虫が大好きだった。最初は蝶捕虫網の少年だった私は虫が大好きだった。

蝶の興味はやがてもつと硬質の美しさへの※希求にとつてかわる。あこがれたのはルリボシカミキリだつた。小さな力

てかわる。あこがれたのはルリボシカミキリだった。小さなカミキリムシ。でもめったに採集できない。その青色は、どんな絵の具をもつても描けないくらいあざやかで深く青い。こ

んな書は
の上に散る斑点は真っ黒。高名な書家が、筆につややかな漆
を含ませて一気に打つたような二列三列の見事な丸い点。大き
く張り出した優美な触覚にまで青色と黒色の互い違いの文様
が並ぶ。私は□Aを殺してずっとその青を見つづけた。

図書館の書庫に降りて、本棚の隅によく探していた本を
料を探す。

う。山手線だろうが常磐線だろうが駅名は一つの間にかすべてすっかりそらんじている。そのうち君は、ある鉄橋を渡る列車の写真を撮るために、地形図や時刻表を丹念に調べはじめた。鉄道の歴史や廃線のあとを知るため図書館に行つて本や資料を探す。

出し票の日付印。なんと君は十年ぶりの借り手だ。誰にも読ま
れず書庫の檻のなかに眠つている本。それを今、君が手にする。
①なんとなくうれしくなる。それは君がちゃんと道を踏んでい
る確かな証拠だ。十年前、この道をたどつた誰かと同じよう
に。

た夕陽に照らされてたなびく雲が流れてゆくのを眺めるときがある。ちぎれた細い雲の先の空は、もう群青色におおわれて、青がすっかり濃くなっている。そこに君は小さな星がまたたいへりいるのに気づく。またたく星は、風にかきけられそうだけど、わずかな輝きが失われることがない。でもその光は果てしなく遠くにある。君はその時の、^②そんな気持ちを忘れないでいてほしい。それは時を経て、くりかえし君の上にあらわれる。それはいつか読んだ小説の中にもあつたし、山崎まさとしの歌の中にもある。あるいは一千二百年前の万葉集の中にでも。調べる。行つてみる。確かめる。また調べる。可能性を考える。実験もしてみる。失われてしまつたものに思いを馳せる。耳をすませる。目を凝らす。風に吹かれる。そのひとつひとつが、君に世界の記述のしかたを教える。

君が好きなことがそのまま職業に通じる必要は全くないんだ。大切なのは、何か一つ好きなことがあること、そしてその好きなことがずっと好きであり続けられることの旅程が、驚くほど豊かで、君を一瞬たりともあきらめさせることができないといふこと。そしてそれは静かに君を励ましつづける。最後の最後まで励ましつづける。

ルリボシカミキリの青。その青に震えた感觸が、私自身のふるかんしょくが、瞬間が、^③まぎれもなく私の原点である。私は虫を集めて何がしたかったのだろう。それは今になるとよくわかる。フェルメールでさえ作り得ない青の由来を、つまりこの世界のありようをただ記述したかったのだ。

(一) 福岡伸一『ルリボシカミキリの青』(一)

一
『ルリボシカミキリの青』

『ルリボシカミキリの青』

1

※ ※ ※ ※

希求：強く願い求めること。
フェルメール：ネーデルラント連邦共和国の画家で、バロ
ック期を代表する画家の一人である。
そらんじている：そらで覚える。暗しようする。
嵩じる：より強くなる。
センス・オブ・ワンダー：ある種の不思議な感動。

1

問2 一線①「なんとなくうれしくなる。」とありますが、それはどうしてですか。本文中のことばを使って、四十五字以内で答えなさい。

問3 一線②「そんな気持ち」とはどういう気持ちですか。その説明として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

I ここで使われている「世界」と同じ例として最も適切なもの次のア～エから選び、記号で答えなさい。

問4 ハ線「君に世界の記述のしかたを教える」と「この世界のありようをただ記述したかったのだ」について。

ア 身近なにげないものに、目をこらしたり、耳をすませたりして、興味をもつ気持ち。

イ 見上げた空の色や、星の輝きに目をむけるような、生活に余裕がある気持ち。

ウ つまらないものばかりに目がいき、肝心なことに気をくばることができないような気持ち。

エ 嫌なことも、嫌いな者も、自然の中に入れば小さなことだと思えるような気持ち。

一一〇一七年度 B—III選考

国語 その二

II 筆者のいう「世界の記述」とはどのようなことを指していますか。その説明として最も適切なものを次のA～Eから選び、記号で答えなさい。

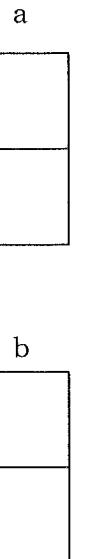
- A 好きなことを好きであり続けて、それについて調べ、確かめて、それを伝えようとすること。
 B 好きなことの歴史を調べ、比較し、その違いをあきらかにしようとすること。

- C 普段では目に見えないようなものを、さまざまな実験と通じてあきらかにしていくこと。
 D 好きというきっかけで、それに関連する仕事につき、専門的に研究し続けること。

- E 好きなことを好きであり続けて、それについて調べ、確かめて、それを伝えようとすること。
 F 好きなことの歴史を調べ、比較し、その違いをあきらかにしようとすること。

問5 一線③「まぎれもなく私の原点である」とありますか、どうしてそういうえるのですか。それを説明した次の文の(～a)～(～b)に入ることばを、本文中からそれぞれ漢字二字で抜き出しなさい。

- A ルリボシカミキリの深い青への不思議な感動から、その青色にとりつかれたときこそが、筆者が自分の一生の(～a)を見つけた瞬間であり、筆者はたまたま、その後の(～b)を決定づけるものとなつたから。



□ 次のA～Dの各問いに答えなさい。

A 例のように、左右のことばが成り立つよう、[a]～[c]に入る漢字をそれぞれ答え、①～⑥の読みも答えなさい。

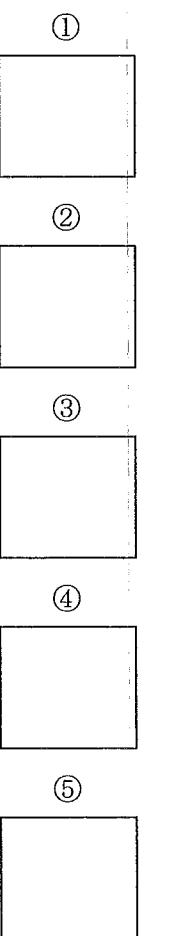
例
安 心 ↓ あんしん
売り ↓ やすうり

a 中
b 売
c 花

- ① 正 ② 誤
③ 正 ④ 誤
⑤ 正 ⑥ 誤

例 「先生は着物を着ますか。」 誤 着ますか
正 おめしになりますか。

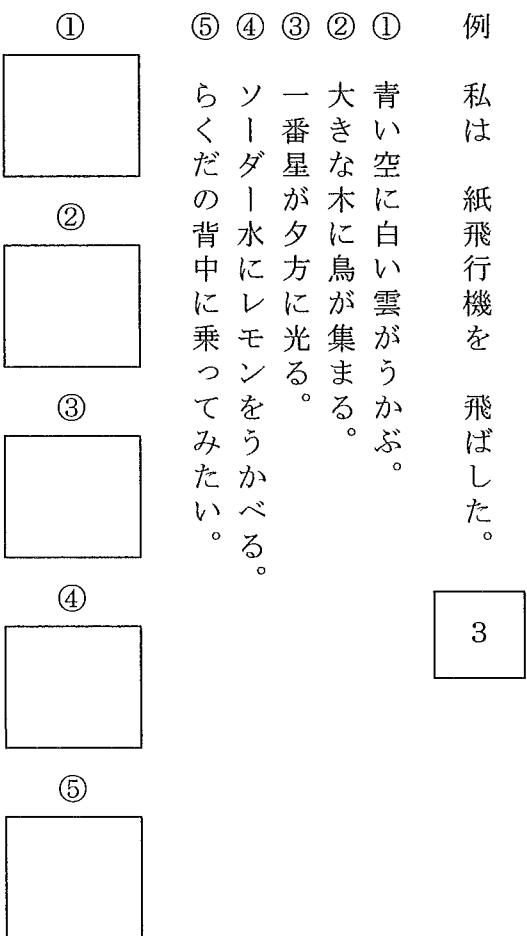
D 例のように、左右のことばが成り立つよう、[a]～[c]に入る漢字をそれぞれ答え、①～⑥の読みも答えなさい。その部分をそれぞれ抜き出し、正しい言葉に直しなさい。



C 例 ①～⑤の「ない」は、次のI・IIのどちらの用法と同じですか。それぞれ記号で答えなさい。

- I 無理もない II 頭痛こそしていない

不思議ではない
かわいくない
間に合わない
よくわからない
言葉をかわしたこともない



B 例 私は紙飛行機を飛ばした。
3

2017年度 B-II選考 算数 その1

1 次の計算をしなさい。

(1) $48 - (27 \div 3 - 5) \times 8 - 3 \times 5$

答

2 次の各問いに答えなさい。

- (1) 30人のクラスで算数のテストを行ったところ、全体の平均点は68点、男子18人の平均点は70点でした。女子の平均点は何点ですか。

答

点

(2) $\left(1 - \frac{1}{5}\right) \times \left(1 - \frac{1}{6}\right) \times \left(1 - \frac{1}{7}\right) \times \left(1 - \frac{1}{8}\right) \times \left(1 - \frac{1}{9}\right)$

- (2) KさんはIさんの2倍のお年玉をもらいました。Kさんが2000円、Iさんが1500円を使うとKさんとIさんの残りのお金は、3:1になりました。Kさんのお年玉はいくらかを求めなさい。

答

答

円

(3) $(0.25 \times 12 - 0.125 \times 8) \times 6 - \frac{5}{2} \div \frac{15}{26}$

- (3) 3で割っても、7で割っても2余る3けたの整数で、最小のものと最大のものを求めなさい。

答

最小

答

最大

2017年度 B-II選考 算数 その2

- 3 濃度8%の食塩水700gと濃度2%の食塩水300gがあります。
次の各問いに答えなさい。

(1) 濃度8%の食塩水にふくまれている食塩は何gか求めなさい。
(式)

答 g

(2) この2つの食塩水を混せたら何%の濃度の食塩水ができるか
求めなさい。

(式)

答 %

(3) 濃度8%の食塩水700gに水を加え、濃度6%の食塩水を作りました。何gの水を加えたか求めなさい。

(式)

答 g

- 4 次のように、ある規則にしたがって、分数を一列に並べます。次の各問いに答えなさい。

$$\frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \frac{2}{3}, \frac{1}{4}, \frac{2}{4}, \frac{3}{4}, \frac{1}{5}, \frac{2}{5}, \frac{3}{5}, \frac{4}{5}, \frac{1}{6}, \dots$$

(1) $\frac{2}{4}$ は5番目に並びます。 $\frac{5}{9}$ は何番目に並ぶか求めなさい。
(考え方)

答 番目

(2) 100番目に並ぶ分数を求めなさい。

(考え方)

答

(3) 100番目までの分数をすべて足すといいくらになるか求めなさい。

(式)

答